科目名	人間と歴史　　Introduction to History						
科目担当者	柴田 博子　　SHIBATA Hiroko						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　人間形成］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　人間形成］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	歴史は、すでに終わってしまったこと、変えようのないもの、という単純なものではない。むしろ現在とのかかわり、現在の問題の中から再検討され、再発見される営みである。現代の価値観も、歴史の所産である。その盲点を探り、自覚してこそ、次の時代を創造していけるであろう。したがって人はみな歴史的な見方を必要としているのである。 現在わたしたちが住んでいる宮崎県は、古代に行政区画として成立した日向国の範囲をほぼ継承している。本講義では、宮崎県地域を中心に、おもに九州南部の原始・古代の歴史を発掘調査の成果と文献史料からとりあげる。						
授業の到達目標	①宮崎を中心に南九州の歴史を学び、地域の歴史に関心を持てる。 ②基礎的な紀年法と歴史学の資史料について学び、歴史的な見方ができる。 ③遺跡保存の現状を知り、課題の解決に向けて考える。						
授業計画・内容	1	紀年法－歴史を学ぶために－					
	2	九州南部の旧石器時代					
	3	文化財と文化財保護法					
	4	九州南部の縄文時代					
	5	上野原遺跡の特色					
	6	弥生時代の始まりをめぐる研究					
	7	稲作の誕生と伝来					
	8	墓制の変遷と古墳の始まり					
	9	九州南部の古墳時代					
	10	生目古墳群と地下式横穴墓					
	11	遺跡保存について					
	12	熊襲と隼人					
	13	日向国の成立と人々の生活					
	14	日向国の平安時代					
	15	宮崎県の設置と近代日本					
授業外学修 (事前学修)	歴史博物館・遺跡を実際に見学し、見学記を作成する（30 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容の要点を整理し、不明な箇所を調べておく（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	毎回のリアクションペーパーもしくは小テスト			60%		①、②、③	
	学期中の見学記			20%		①、②	
	定期試験			20%		③	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	毎時プリントを配付する。						
参考文献	坂上 康俊　他『宮崎県の歴史』山川出版社 『宮崎県史　通史編　古代２』宮崎県						
その他							